

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、大平台圏域） 第2回会議 議事録

開催日時	令和5年10月23日（月）10時00分から11時30分まで
参加者	委員：9人 事務局：3人 その他：6人（高齢者福祉課：1人、協働センターコミュニティ担当職員1人、長寿保険課1人、包括2人、市社協地域支援課1人）
場所	篠原協働センター
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 協議事項</p> <p>①地域資源マップについて（配布方法）</p> <p>地域資源マップの修正箇所と作成時期、配布方法など最終確認を行う。</p> <p>3. 意見交換（地区別）</p> <p>テーマ「高齢者の外出について」～サロン、地域行事の参加について～</p> <p>【グループワークの意見】</p> <p>【入野地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自治会により集客方法が違う。もともとの住民でなく新しい方もいる祭りのイベント進行が難しい。 ・餅投げにより集客ができた。「集客」するには、何をすると集まるのか。何を知りたいのか。どのようにすると外へ出てくれるのかを考えていく。 ・子供の参加にはチラシにQRコードを入れ、LINEでつながった。 ・敬老会へ参加することが「遠い」と言われた。 ・外出する方法として、地域の方が誘ってくれるということがある。サロン活動を活発化している。 ・サロンへ送ったが、サロン担当の方から「やめてください」と言われた。サロンは自分で通える人が参加している。家族の送迎はOKとしている。 ・サロンに歩行器で来ている方には付き添い支援をすることもある。 ・サロンボランティアが高齢化している。老老サロンになっている。 ・仕事や自身の趣味等で忙しく、ボランティア人材が集まらない。 ・コロナ以降からつながりが薄くなっている。 ・地域の助け合いが必要。つながりがきれないように回覧板は重要。地域の方、隣近所と仲良くすることが大切である。 <p>【篠原地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロンに行きたくても足がない。 ・送迎の際、事故等の心配がある。（誰が責任を取るのか。） →迎えに行く事をやめようかという話しが出ている。 ・活動先が協働センター中心となっており、馬郡や遠方地域の方が参加しづらくなっている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に参加する足がない。 ・白タクシーが利用できる対象地域ではない。 ・バックアップするものがないと個人での送迎はリスクが高い。 ・サロンは歩いて来られる人の参加が中心となっている。 ・サロン西側の方面で男性が増えてきた。 ・サロンが高齢化向けの内容ではなくなっている。 ・相乗りに対する何らかの補償がほしい。 <p>4. 情報提供</p> <p>①地域包括支援センター活動報告 地域包括支援センター大平台より活動報告をしていただく。</p> <p>5. 連絡事項</p> <p>①次回会議開催予定 日時：令和6年2月26日（月）10：00～ 会場：入野協働センター</p> <p>6. 閉会</p>
<p>今後の見通し等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源マップについては、印刷をし、地域へ配布できるように進めていく。 ・今回地区別に意見交換をし、何をすると高齢者が地域行事に集まるのか、参加するのか、またサロンボランティアの高齢化などの課題を委員、関係者間で情報交換、情報共有することができた。今後、意見交換で出た意見も含め協議内容を検討していく。